

米国ハリケーン・サンディに関する現地調査について

2012 年10 月29 日、アメリカ合衆国ニュージャージー州に上陸したハリケーン・サンディは、大都市であるニューヨークを直撃し、地下鉄や地下空間への浸水をはじめ、交通機関の麻痺、ビジネス活動の停止を通じて経済・社会活動に影響を与えるなど、近年発生した災害の中でも極めて甚大な被害をもたらしました。現在、米国では甚大な被害を踏まえ、再度災害防止の観点から、災害対応の体制見直しや根本的な治水対策の見直しを進めているところです。三大都市圏のゼロメートル地帯に都市機能を抱える我が国としては、今回のハリケーン・サンディによる災害を詳細に調査し、教訓とすることを目的とし、国土交通省・防災関連学会合同の調査団を派遣します。

1. 派遣期間

平成25 年2 月25 日(月)～平成25 年3 月1 日(金) (5 日間)

※上記期間の他に、その前後に個別調査等を実施予定。

2. 訪問機関(予定)

海洋大気庁(NOAA)、陸軍工兵隊(USACE)、危機管理庁(FEMA)、ニューヨーク州(NYS)、
ニューヨーク都市交通公社(MTA)、ニューヨーク大学 他

3. 派遣メンバー

別紙のとおり

国土交通省・防災関連学会 合同調査団メンバー

【国土交通省等】

団長	国土技術政策総合研究所 所長	上総 周平
団員	大臣官房 技術調査課 課長補佐	青野 正志
〃	総合政策局 国際建設管理官	安田 吾郎
〃	水管理・国土保全局 河川計画課 水利技術調整官	井上 智夫
〃	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 地震災害研究官	運上 茂樹
〃	国土技術政策総合研究所 河川研究部 海岸研究室長	諏訪 義雄
〃	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 水害研究室長	伊藤 弘之
〃	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 地震防災研究室 主任研究官	間瀬 利明
〃	気象庁 予報部 予報課 予報官	高橋 賢一
〃	港湾空港技術研究所 海洋研究領域 波浪研究チーム 研究官	加島 寛章

【防災関連学会】

団長	関西大学 社会安全学部 社会安全研究センター長・教授	河田 恵昭
団員	京都大学 防災研究所 巨大災害研究センター 教授	林 春男
〃	京都大学 経営管理大学院 客員教授	関 克己
〃	関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科 教授	石垣 泰輔
〃	新潟大学 危機管理本部 危機管理室 教授	田村 圭子
〃	名古屋工業大学 都市社会工学科 教授	渡辺 研司
〃	京都大学 防災研究所 気象・水象災害研究部門 助教	安田 誠宏
〃	環境・防災研究所(CeMI) 副所長	松尾 一郎

(以上 計18 名)

注) 防災関連学会とは、土木学会、日本災害情報学会、地域安全学会、日本自然災害学会を指す。